



大木

大木町立大木中学校

学校だより

令和元年度

第8号(9月)

文責 校長 庄司保浩

学校評価の実施と結果

本校では、教育活動の成果と課題を客観的に把握するために、年に2回、保護者アンケートと生徒アンケートを実施しています。本年度も7月に保護者アンケート(全保護者対象)と生徒アンケート(全生徒対象)を実施し、前期の学校評価を行いました。ご協力ありがとうございました。

保護者による学校評価結果を紹介します。保護者による学校評価は、概ね良い評価をいただいたと捉えています。今回の評価結果から、学校が子ども達にとって安全で安心して生活できる場になっていることや子ども達が落ち着いて生活していることが分かります。ただ、学習面に関する評価結果においては満足度が低いことも分かりました。

学校の教育目標と本年度の重点目標		4:十分	3:だいたい十分						
教育目標	確かな学力と豊かな心を持ち、21世紀をたくましく生き抜く生徒を育成する。								
重点目標	課題解決のためのよりよい方法を追求する子どもの育成	2:やや不十分	1:不十分						
No	項 目	R1					保護者満足度		
		0%	20%	40%	60%	80%	100%		
1	子どもは楽しく学校生活を送っている。							3.4	94%
2	子どもは基礎・基本の学力を身に付けている。							2.7	64%
3	子どもは授業が楽しく、分かりやすいと感じている。							2.7	59%
4	子どもは家庭学習に対して継続的に取り組んでいる。							2.5	49%
5	子どもは部活動に意欲的に取り組んでいる。							3.5	92%

6	子どもは学校のきまりを守って生活している。	62.5	33.8	3.6	96%	
7	子どもと先生との信頼関係ができている。	25.3	59.1	14.4	3.1	84%
8	学校の教育方針について理解している。	24.5	60.5	14.4	3.1	85%
9	大木中学校の生徒全体がよい方向に向かっている。	20.7	66.1	12.2	3.1	87%
10	学校の施設が大切にされ、過ごしやすい雰囲気である。	28.2	64.9	6.3	3.2	93%
11	学校では生徒指導が適切に行われている。	30.3	60.6	9.1	3.2	91%
12	学校でよいいじめや人権に配慮した教育が行われている。	23.8	60.9	14.1	3.1	85%
13	学校では授業や行事などの公開が適切に行われている。	35.2	58.2	6.6	3.3	93%
14	学校と保護者との連携ができている。	19.6	61.1	17.8	3.0	81%
重点目標	スマホ・ケータイに係る家庭教育宣言の趣旨を理解し、取り組んでいる。	28.1	51.3	18.4	3.1	79%
平均					3.1	82%

本校では、授業で次のような生徒の姿を目指しています。

○学習する目的を明確に持ち、学習内容についての期待度や「分かりたい」という意欲を感じている姿

○めあての解決に向けて解決の方法や内容を考えだそうとする姿

○本時の学習をまとめ、充実感(達成感や快感)を感じている姿

○自分の解決方法を持って課題解決を行い、交流活動で深めていく姿

○根拠をもとに自分の考えを表出(書く・話す)する姿(本年度の重点)

これらの5つの姿が見られる授業づくりをすることが、生徒に基礎・基本の確実な定着とそれを活用する力(思考力・表現力)の育成につながると考えています。また、それを支える学習規律や学習環境も大切にしています。

全国学力学習状況調査

4月に第3学年を対象として実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

お知らせします。問題の内容と本校の結果は左のとおりです。

本年度は、新たに英語も加わりましたが、国語、数学、英語のすべての教科で全国平均を上回りました。	
国語	「知識」「活用」の両方を問う問題
数学	「知識」「活用」の両方を問う問題
英語	「聞く」「読む」「書く」を問う問題
全国の平均正答率に比べ	
3%以上	
-3%以上~3%未満	
-3%未満	
国語	◎
数学	◎
英語	◎

すべての領域で、全国平均を上回っていました。数学では「図形」領域にやや課題が見られましたが、他の領域では全国平均を上回っていました。また同時に実施された生徒質問紙では、「自尊感情や自己肯定感」「規範意識」に関する質問に対する回答の平均値が全国や福岡県に比べて高い傾向にあるのに比べて、「計画的な家庭学習」「将来に対する夢や目標」「新聞を読む」「積極的に英語を使うような生活を送ったり職業に就く」の平均値が低い傾向にあります。

今後とも、全教科、全領域で学力の定着を図るとともに、生徒の主体的な学習を促していきま

英語スピーチコンテスト

最優秀賞

9月21日(土)に福岡県教育委員会主催、南筑後中学生英語スピーチコンテストが開催されました。

本コンテストは、中学1

2年生を対象としたもので英語のみを用いた暗唱やスピーチを他校生徒と発表し合うことにより、英語のコミュニケーション能力を育成するとともに、更に英語力を伸ばしたいという意欲を高めることを目的としています。



今年度の1年生部門の暗唱は「The Adventures of Tom Sawyer トム・ソーヤーの冒険」よりで南筑後管内の中学1年生13人が参加しました。

本校からは1年4組の牛島渚さんが代表として参加し、堂々と発表してくれました。入賞こそありませんでしたが、素晴らしい発音と完璧な暗唱でした。2年生部門のスピーチは、英語によるスピーチ(自由課題)でテーマを自分で決め、そのテーマに沿って自分の思いや考えを英語でスピーチします。今年は南筑後管内の中学2年生13人が参加し本校からは2年1組の野田桃々夏さんが「A Present From Chirami」のテーマでスピーチしました。そして最優秀賞(一位)という輝かしい成績を収めました。

英語スピーチコンテストには、発表者以外にも管内の小・中学生の参観ができ、本校からも中学2・3年生の生徒9人が参観し研修を深めました。今回参加してくれた生徒の皆さん、ご苦労様でした。

※野田桃々夏さんは、南筑後地区の代表として11月30日(土)に開催される福岡県大会に出場します。

「ポイ捨てごみなくし隊」中学生タイアップ事業

9月7日(土)に「ポイ捨てごみなくし隊」ボランティア活動が行われ本校からも110名以上の生徒が参加しました。

参加者250名を超えた大木中学校から道の駅「くるるん」までの約1kmの道のりを10班に分かれて投げ捨てられた紙くずや空き缶、ペットボトルを拾って回りました。参加した生徒の皆さん、地域の皆様お疲れ様でした。

